



公立高校の入試について part1

公立高校の入試－正式名称は平成24年度広島県公立高等学校入学者選抜－の実施内容が、夏休み中(8月8日)に発表されたので廊下に掲示しました。可部高校と安西高校を例にして、少しずつ補足説明しておきます。

高等学校名	学科[コース]	選 抜 ()		
		定員枠 割合 (%)	学校独自の推薦基準	面接以外に実施する項目
可部	普通	20	○	小論文

〔定員枠〕

平成24年度の入学定員は、まだ発表されていません。昨年度の可部高校の入学定員は、280名だったので、そのまま計算すると280名の20% = 56名が選抜()の定員となります。つまり、選抜()で合格するのは56名以内ということです。そして、残りの224名が選抜()の定員となる予定です。また、定員枠は普通科は20%以内、総合学科・専門学科・普通科内のコースは50%以内となっています。

〔学校独自の推薦基準〕

選抜()における出願資格に係る条件(これにあてはまらないと受検できない)は、

- 1 当該学校、学科・コースを志望する動機・理由が明白かつ適切であること。
- 2 当該学校、学科・コースに対する適性、興味・関心及び学習意欲を有すること。
- 3 学習成績が良好であること。
- 4 高等学校長が推薦基準を定める場合には、その推薦基準を満たすこと。

です。4番目の条件がある高校はこの欄に○印がついています。各校の推薦基準も廊下に掲示しています。ちなみに、可部高校の推薦基準は、以下のようになっています。

文化・スポーツ活動、生徒会活動、ボランティア活動、地域活動、技能検定等の資格において優れた実績をあげており、入学後も意欲的に取り組むこと。

〔面接以外に実施する項目〕

すべての高校で面接が実施されますが、それぞれの学校の特色に応じて、面接以外に独自の選抜方法を実施することができます。小論文を実施する学校が多いですが、実技検査や高陽東高校のようにプレゼンテーションとグループ討議を実施する高校もあります。

過去に出題された小論文の問題は別の機会に紹介しますが、グラフや資料を読み取り、自分の考えをまとめる力を試される問題が多いです。普段から、きちんとした文章を書くことを心がけることはもちろん、新聞やニュース番組を通じて社会の出来事に関心を持つておくことも大切です。

選抜()の合格者は、面接等の結果と中学校から提出される推薦書、調査書および志願者が提出する志望理由書を総合的に判断して決定されます。その結果の通知は2月8日にあり、合格発表は3月14日。選抜()の合格発表と同時にされます。